

University-wide Education Program 2023

University-wide Graduate Education Program

- Interdisciplinary Education Program on Ocean Science and Policy
- Digital Humanities
- Science, Technology, and Innovation Governance
- Global Leadership Program for Social Design and Management

University-wide Undergraduate Education Program

- Media Content
- Diversity and Inclusion
- Death and Life Studies and Practical Ethics
- Human Integrative Science and Education of Mind
- Mathematics and Data Science
- Future Regional Society
- CyberSecurity



東京大学

横断型

University-wide Education Program

教育プログラム

2023

横断型教育プログラムへの招待



東京大学総長 藤井 輝夫

新型コロナウイルス感染症や気候変動など、私たち人類社会の目の前に突き付けられている地球規模課題の多くは複雑な要因が絡み合っており、特定の専門性のみで解決策を見出すことは難しいものばかりです。多くの学問分野から知恵を出し合い、対応する必要があります。また、これまで前提としていた諸条件や常識が、大きくしかも年単位で変化していく今日においては、特定の専門知識を持っていたとしても、すぐに有効に使えなくなってしまう可能性もあります。東京大学は、深く多様な学問に基づく知を基盤として、自ら問いを立て、必要な知見を編み合わせながら知を探究する、あるいは人類的な課題に積極的に取り組む人材を幅広く育てたいと考えています。

学生のみなさんには、自分が問われている問いや課題に対して必要な知を使いこなす力を付けてもらいたいと思っています。そのためには、特定分野の専門知識だけでなく、新たな課題に果敢に挑戦し、幅広い分野を横断していく柔軟な知性、及び複線的な視座を統合する能力が不可欠です。

東京大学は、新しい課題に向けて異なる分野の知をつなぐ横断型教育プログラムを展開しています。横断型教育プログラムとは、定められたテーマに沿って、複数の教育部局において開設している講義・演習等をひとまとまりとして履修するもので、所属する教育部局固有の教育カリキュラムに加えて履修することができます。現在では11のテーマでプログラムを展開しており、どれもこれまでにない新しい創造的領域に挑戦するものです。

みなさんの積極的な参加を期待します。

修了証授与までのステップ

履修資格：東京大学のすべての学部後期課程及び研究科（教育部を含む）に所属している学生が履修できます。学部横断型は、学部3～4年生（大学院学生も各研究科の規則の範囲で履修可能）、大学院横断型は、大学院学生が対象です。

※「海洋学際教育プログラム」、「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」、「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム」及び「サイバーセキュリティ教育プログラム」については、ウェブサイトで指示されている方法に従ってプログラムへの参加登録を行ってください。

Step 1

科目履修登録

各研究科・学部の通常の履修手続きに従ってください。

Step 2

科目単位認定

単位・成績の評価は、各科目に関する通常のルールに従って授業科目ごとに行われます。

Step 3

修了証申請

修了証の申請時期は、在学している学部を卒業又は大学院を修了（博士課程満期退学を含む）する学期の始めです。修了証授与を希望する学生は、UTASで期間中に手続きを行ってください。
プログラムによって必修科目等の単位数が異なります。
詳細は各プログラムのウェブサイト等で確認してください。

Step 4

修了証授与

各プログラムの修了に必要な単位を取得し、在学している学部を卒業又は大学院を修了（博士課程満期退学を含む）した履修者には、東京大学から修了証が授与されます。この修了証は、全学の教育運営委員会で認められて大学が授与する正式な修了証です。
※プログラムの修了に必要な単位を取得しても、学部卒業・大学院修了（博士課程満期退学を含む）ができなかった場合には修了証は交付されません。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/University-wideEducationProgram.html>

大学院横断型

University-wide Graduate Education Program



Interdisciplinary Education Program
on Ocean Science and Policy
海洋学際教育プログラム

海洋学際教育プログラム事務局
e-mail:education@oa.u-tokyo.ac.jp
tel:04-7136-6416
<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/program/education.html>



Digital Humanities
デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム

人文社会系研究科附属次世代人文学開発センター
人文情報学部
DH 教育プログラム担当
e-mail:dh-education@l.u-tokyo.ac.jp
<https://dh.l.u-tokyo.ac.jp/education>



Science, Technology, and Innovation Governance
**科学技術イノベーション政策の科学
教育プログラム**

科学技術イノベーション政策の科学
教育プログラム事務局
e-mail:STIG@pp.u-tokyo.ac.jp
tel:03-5841-0955
(日本語) <https://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/>
(English) <https://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/en/>



Global Leadership Program for Social Design and Management
**社会デザインと実践のための
グローバルリーダーシップ養成プログラム**

公共政策大学院
社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成
プログラム事務局
e-mail:gsdm-ppoffice@pp.u-tokyo.ac.jp tel:03-5841-0846
(日本語) <https://gsdm.u-tokyo.ac.jp/gsdm2.0/>
(English) <https://gsdm.u-tokyo.ac.jp/gsdm2.0/en/>

学部横断型

University-wide Undergraduate Education Program



Media Content
メディアコンテンツ教育プログラム

情報学環メディア・コンテンツ総合研究機構
MC 教育プログラム担当
e-mail:info@utokyomc.org
<http://www.utokyomc.org>



Death and Life Studies and Practical Ethics
死生学・応用倫理教育プログラム

文学部 死生学・応用倫理センター
e-mail:dalspe@l.u-tokyo.ac.jp
<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/ja/education.html>



Mathematics and Data Science
数理・データサイエンス教育プログラム

数理・情報教育研究センター
数理・データサイエンス教育プログラム担当
e-mail:mds-oudan@mi.u-tokyo.ac.jp
<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/mds-oudan/>



CyberSecurity
サイバーセキュリティ教育プログラム

情報セキュリティ教育研究センター
e-mail:education@si.u-tokyo.ac.jp
<https://si.u-tokyo.ac.jp/CyberSecurity/>



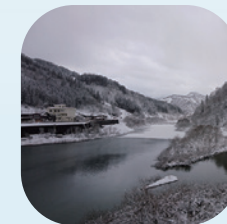
Diversity and Inclusion
ダイバーシティ・インクルージョン教育プログラム

教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
e-mail:cbfe@p.u-tokyo.ac.jp
tel & fax:03-5841-1406
<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/education/>



Human Integrative Science and Education of Mind
こころの総合人間科学教育プログラム

心の多様性と適応の連携研究機構
こころの総合人間科学教育プログラム担当
e-mail:utidahm-office@umin.ac.jp
<http://utidahm.umin.jp/phisem/>

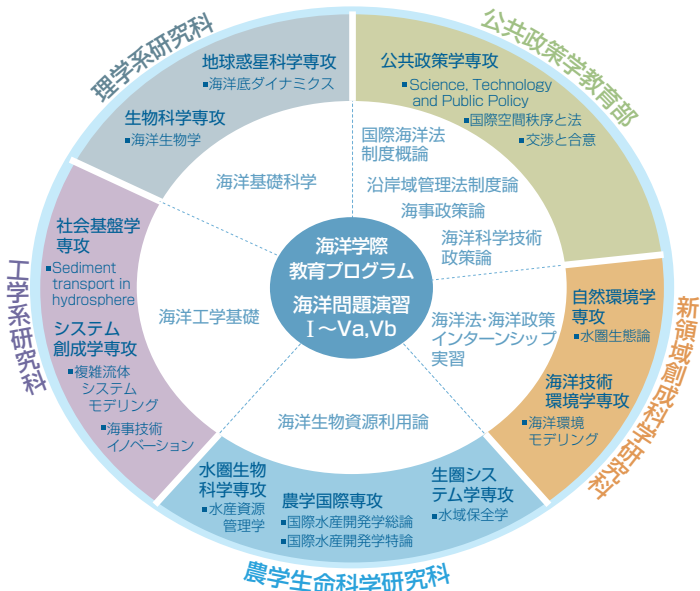


Future Regional Society
地域未来社会教育プログラム

地域未来社会連携研究機構
FRS 教育プログラム担当
e-mail:office@frs.c.u-tokyo.ac.jp
<https://frs.c.u-tokyo.ac.jp/program/>

海洋学際教育プログラム

海に関わる教育研究の部局横断的なネットワーク組織として、分野横断型大学院教育プログラムを実施します。理系・文系といった従来の枠組みを越えた学際領域としての海洋学の総合的な発展と、日本の海洋政策の統合化および国際化を担う人材の育成を目指します。



● プログラム概要

本プログラムの講義科目は、関連する研究科・専攻の科目によって構成されます。具体的には、海洋問題演習を必修科目として実施5研究科で各々開講し、また分野横断的な学習を促すため、共通科目、文系科目、理系科目を含む選択必修科目を各研究科において開講します。また、講義への理解をより深めるため、これらの科目とは別に、各研究科の開講科目の中から1~2科目の履修を推奨しています。

● 科目群

【必修科目】海洋問題演習 I~Va,Vb
【選択必修科目】海洋法・海洋政策インターンシップ実習 / 海事政策論 / 国際海洋法制度概論 / 沿岸域管理法制度論 / 海洋科学技術政策論 / 海洋基礎科学 / 海洋工学基礎 / 海洋生物資源利用論
【推奨科目】海洋底ダイナミクス / 海洋生物学 / Sediment transport in hydrosphere / 複雑流体システムモデリング / 海事技術イノベーション / 複雑流体システムモデリング / 海事技術イノベーション / 水産資源管理 / 国際水産開発学総論 / 国際水産開発学特論 / 水域保全学 / 水圏生態論 / 海洋環境モデリング / Science, Technology and Public Policy / 国際空間秩序と法 / 交渉と合意 など

● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生
【履修】必修科目を含む12単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも可能です。

※上記は2021年度以降に入学した者の取り扱いを記載しております。2020年度以前に入学した者は従前どおりの科目群(必修科目、選択必修科目1~3、推奨科目)、必須修得単位数(必修科目を含む14単位以上)としますので、詳細はホームページを参照するか、プログラム事務局へ問い合わせてください。

デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム

デジタル技術は、人類の知的資源の保存、研究、発信の方法を大きく変えて、情報社会の新しい知識基盤を形成しています。この変化に対応すべく、デジタル媒体による学術資料のアーカイブ構築、文化コンテンツや言語テキストの分析、学術成果の公開や展示の方法などを、文系・理系の枠組みを横断して研究する「デジタル・ヒューマニティーズ」の動きが世界的に広がっています。本プログラムは、デジタル技術を用いたヒューマニティーズの新しい方法とともに、情報学を文化資源の構築に活かしていく方法を広く学びます。



● プログラム概要

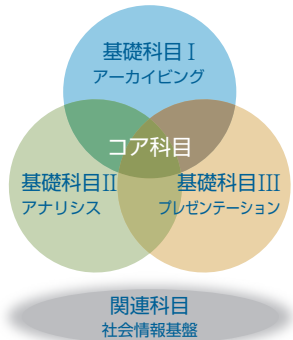
本プログラムは、〈コア科目〉、〈基礎科目〉、〈関連科目〉によって構成されます。〈コア科目〉はデジタル・ヒューマニティーズの中核をなすもので、2つの「必修科目」が含まれます。〈基礎科目〉は、I) アーカイビング、II) アナリシス、III) プレゼンテーションという3つの要素からなり、学問領域を横断して理論と方法を学ぶことができます。〈関連科目〉では、これらの科目に関係する情報社会基盤の知識を得ることができます。

● 科目群

【コア科目】人文情報学概論 I (必修科目) / デジタル・ヒューマニティーズ入門 (必修科目) / 人文情報学概論 II / 人文情報学の諸相 / 社会情報学研究法 I / 多文化共生・統合人間学演習IV
【基礎科目 I】文書文化論 / 情報媒体構造論 / 文化・人間情報学特論VII / 図書館情報学研究方法論
【基礎科目 II】言語処理のための情報処理 / 文化・人間情報学基礎 II / 音響音声学(I) / 音響音声学(2)
【基礎科目 III】人文情報学研究 I / 人文情報学研究 II / 人文情報学演習 I / 人文情報学演習 II
【関連科目】情報メディア論 I: インターネット基礎 / 情報メディア論 II: 情報セキュリティ

● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生
【履修】必修科目4単位を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。



科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム

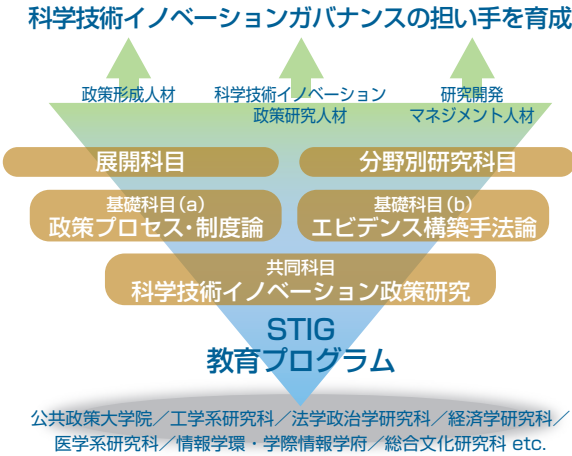


科学技術イノベーション政策の作成や実施に必要なエビデンス構築手法や、各分野における科学技術イノベーション政策プロセスに関する知識を身につけた、科学技術イノベーション政策の担い手となる人材育成を目的としています。

● プログラム概要

本プログラムは、共同科目、基礎科目、展開科目、分野別研究科目によって構成され、関連する研究科・専攻の科目として開講します。共同科目では、演習形式で様々な知識の総合的活用の方を身につける「科学技術イノベーション政策研究」を開講。基礎科目では、政策プロセス・制度論、エビデンス構築手法論と2種開講。展開科目では、基礎科目に関して展開・応用を図る科目を開講します。また、分野ごとの文脈に関する知識を提供し、個別分野における実践的能力を高めるための分野別研究科目の履修を推奨しています。

● 科目群



● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生
【履修】共同科目(必修科目)を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修要件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

※科目名称は、開設研究科によって異なる場合があります。

社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム



資源・環境・エネルギー、保健・医療、宇宙・海洋、安全保障、グローバル経済、食料・生命、AI・デジタル化、学習・コミュニケーションといった幅広い領域における課題の解決策をデザインするとともに、卓越したコミュニケーション能力や行動力で解決を実践できるグローバルリーダーの育成を目的としたプログラムです。



● 履修・修了要件

【対象】東京大学の大学院学生
【履修】必修科目2単位、Project Based Learning 科目2単位、グローバル社会・政策コア科目・先端科学技術コア科目・課題解決力コア科目から8単位(各コア2単位以上、内英語科目4単位以上)の合計12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修要件はホームページをご覧ください。個別の科目のみの履修も歓迎しています。

● プログラム概要

本プログラムは、様々な分野における課題設定について幅広く学ぶ必修科目と、選択必修科目の、政府、NPO、企業の現場の課題に応じて具体的な解決策の提案を行う「PBL科目」、俯瞰的視座を提供する「グローバル社会・政策コア科目」(主として文系科目)及び「先端科学技術コア科目」(主として理系科目)、各々の専門研究に即した設計力・行動力を養成する「課題解決力コア科目」から構成されます。さらに、学生主導の自主的な分野横断的なチームによる実践的研究プロジェクト、学生間の交流機会も提供します。主要な活動言語は英語です。

● 科目群

【必修科目】Social Design and Global Leadership
【選択必修科目】■PBL科目: Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions) / 工学コンベンション I-プロジェクト・ベースト・ラーニング
■グローバル社会・政策コア科目: Introduction to Social Science / Science, Technology and Public Policy / 現代中国の外交 / New Dimensions of Security in the Risk Age / グローバル時代の国際移動と教育 他多数
■先端科学技術コア科目: Advanced Study of Science & Technology / 科学技術・産業政策論 / 国際食料資源学(IPADS Food Resources) / 医療情報システム学 / 健康医療政策学 他多数
■課題解決力コア科目: Case Study (Social Design and management) / 創造性工学プロジェクト I 他多数
※科目名称は、開設研究科によって異なる場合があります。

メディアコンテンツ教育プログラム

人とメディアの関わりは大きく変化しています。本教育プログラムは、最新のインターネットビジネスなどの新しい動きを踏まえ、メディア上に流通するコンテンツの創造に関する学部の枠を超えた横断的な教育と学際的な人材養成を目的とします。



● プログラム概要

総合、技術・創造、文化・社会、人間・心理の分野から、メディアコンテンツに関連する科目を開講します。特に必修科目や選択科目の区別はありません。詳細はホームページをご覧ください。

● 科目群

メディアコンテンツ特別講義Ⅰ / メディアコンテンツ特別講義Ⅱ / 技術とコンテンツ / 言語・音声情報処理 / ネットワーク工学概論 / 映像メディア工学 / 人工知能 / 情報セキュリティ / ヒューマン・インタフェース / ロボットインテリジェンス / 学習環境のデザイン / 創造性の心理学 / 情報数理科学Ⅵ / 人間情報学Ⅰ / 人間情報学Ⅴ / ユーザー・インタフェース / 情報社会及び情報倫理 / 心理学特殊講義Ⅴ

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3～4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。
【履修】合計で12単位以上を取得する必要があります。単位認定科目の詳細はホームページを参照してください。本年度末に卒業または修了する、学部・大学院の最終年度の学生にはプログラム修了証が交付されます。修了証の取得を目的とせずに個々の科目のみの履修も可能です。

死生学・応用倫理教育プログラム



死生学・応用倫理センター
Death & Life Studies and Practical Ethics



作者名 /Shutterstock.com

死生学は、死すべき存在である人間のあり方を見すえ、そこから生きることを意味を再考する学問です。また、応用倫理は、現代社会のさまざまな場面で起きている諸問題に対し、どのように対応をすべきかを考える営みです。死生学・応用倫理教育プログラムは、これらの分野に関する学際的な知識を有する学生の育成を行います。関心を有する学生諸君の積極的な参加を歓迎します。

● プログラム概要

本プログラムは必修科目(概論)、選択必修科目(演習)、選択科目(特殊講義など)から構成されます。履修者は死生学と応用倫理を概説する二つの概論を受講するほか、各自の関心によって多様な分野で開講されている演習や特講を選択できます。

● 科目群

【必修科目】死生学概論 / 応用倫理概論
【必修選択科目】死生学演習 / 応用倫理演習
【選択科目】死生学特殊講義 / 応用倫理特殊講義 / 臨床教育現象学概論 / 生命・医療倫理Ⅰ / 家族と健康 / 技術倫理 / 生命倫理 / 科学技術リテラシー論Ⅰ / 応用倫理学概論 など

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3～4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。但し、大学院学生がプログラム修了証の発行を希望する場合は、学部学生向けの科目を登録してください。
【履修】必修科目4単位、選択必修科目2単位、選択科目6単位、計12単位以上を履修した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件などはホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目を履修することも歓迎いたします。

ダイバーシティ・インクルージョン教育プログラム



障害者・女性・性的マイノリティ・外国にルーツを持つ人々等、社会の中で周縁的な位置に置かれているマイノリティが直面する社会-文化-心理的バリアを抽出・分析・可視化し、その解消に向けた方策を探究する知性は、多様性を包摂する社会に生きる私たちにとって不可欠な知的基盤です。



● プログラム概要

本プログラムでは、多様な社会的マイノリティに関わる諸分野の研究の成果を活かし、誰もが生きやすい社会を創ろうと構想し実行することのできる市民の育成を目的として、学部の枠組みを超えた学際的な科目群から成るカリキュラムを展開します。

● 科目群

選択必修科目であるコア科目と一般科目によって構成されています。
【コア科目】ディスアビリティ・スタディーズ / 多様性と経済 / バリアフリー総論 / ダイバーシティ・インクルージョン概論(旧バリア・スタディーズ) / ダイバーシティと社会
【一般科目】心の健康科学 / 福祉工学 / 開発経済Ⅰ / 社会学演習 XI: ケアと支援の社会学(1) / 社会学演習 XX: ケアと支援の社会学(2) / 表象文化基礎論演習 / 認知行動科学と現代 / 朝鮮地域特殊演習・特殊研究演習Ⅰ / 科学哲学演習Ⅱ / 応用倫理学概論 / 地理・空間基礎論Ⅱ / 特殊研究演習「ジェンダー論演習」 / 特殊講義Ⅱ: アメリカ現代社会論 / 質的心理学研究法Ⅰ / 質的心理学研究法Ⅱ / 安全・安心教育 / 比較教育学概論 / フィールドワークの理論と実践 / 臨床教育現象学概論 / 特別支援教育総論Ⅱ / フェミニズム理論 / 子どもの貧困問題概論 / 子どもの貧困問題演習 / インクルーシブ社会のための実践知

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3～4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。
【履修】選択必修科目を含む12単位以上(うち、コア科目の中から2科目以上を履修)を取得した学生に、「プログラム修了証」を交付します。修了証の取得を目的とせずに、個別の科目を履修することも歓迎いたします。プログラムに関する最新情報は、webサイトをご覧ください。

こころの総合人間科学教育プログラム



「こころ」については、ヒトや動物の認知情報処理過程から、うつ、いじめなどの問題、自我、価値観などヒトの成熟過程まで、様々な側面から幅広い分野で研究が行われています。各研究分野はそれだけで完結せず、他分野との融合によって発展していきます。本プログラムでは、学内のこころの科学にかかわる教員が結集し、部局を超えた最先端のこころの総合的人間科学教育を提供します。こころの多様性と適応に関心のあるすべての皆さんの受講を歓迎します。

● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、「こころ」について分野横断的に学ぶためのコア講義・実習、選択科目は、様々な専門分野における「こころ」についての講義・実習からなります。

● 科目群

【選択必修科目】[教養] こころの総合人間科学概論 / こころの総合人間科学特論 / こころの総合人間科学演習 / 脳認知科学実習(1) / 脳認知科学実習(2) / 臨床発達精神医学実習 / 進化認知科学実習 / [文] 精神医学(偶数年度開講)
【選択科目】[教養] 認知脳科学概論 / 心理物理学 / 認知行動障害論 / 行動適応論 / 性格心理学 / 言語と認知Ⅰ / 発達認知脳科学 / [教育] 教授・学習心理学概論(教育・学校心理学) / 発達心理学 / 社会性と感情の発達心理学(感情・人格心理学) / 創造性の心理学 / ダイバーシティ・インクルージョン概論 / 教育の疫学入門 / 心と脳の発達 / [文] 心理学概論Ⅰ / 心理学概論Ⅱ / 心理学特殊講義Ⅰ / 心理学特殊講義Ⅱ / 社会心理学概論Ⅰ / 社会心理学概論Ⅱ / 社会心理学特殊講義Ⅲ / [法] Quantitative Social Science / 医事法演習 / [理] 動物生理学Ⅱ / [薬] 生物統計学 / [医] 心の健康科学 / 家族と健康 / 心の健康トピックス

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(内定生を含む)が対象ですが、大学院学生もプログラムに参加可能です。各科目の履修要件は科目毎に異なります。
【履修】選択必修科目6単位、選択科目6単位(選択必修科目のうち必要単位数を超えて取得した単位は算入可能)、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。

数理・データサイエンス教育プログラム

数理・データサイエンスの能力の重要性は、文系分野を含む様々な分野で急速な広がりを見せています。本プログラムでは、理系・文系にまたがる体系化された数理・データサイエンスに関する講義科目を提供します。プログラムを履修した学生は、理系・文系を問わず将来の研究あるいは実務の面において必要になる数理・データサイエンス分野に関する基礎的知識と技術を身につけることができます。



● プログラム概要

数理・データサイエンス分野の科目から構成されます。これらの科目を履修することにより、さまざまな応用分野で必要となる数理・データサイエンスの基礎的な力を身につけることができます。必修科目や選択科目の区別はありません。

● 科目群

数理手法 I (統計学) / 数理手法 IV (確率論) / 数理手法 VI (確率過程論) / 数理手法 III (最適化手法) / 数理手法 VII (時系列解析) / 数理科学統論 I (統計データ解析 I) / 数理科学統論 J (統計データ解析 II) / 確率統計学基礎 / Python プログラミング入門 / データマイニング概論 / 計算機実験 I / 計算機実験 II / 数理手法 VIII / 社会科学のための統計分析 / 文科系のための線形代数・解析 I / 文科系のための線形代数・解析 II / メディアプログラミング入門 / データサイエンス超入門 など

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3～4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。
【履修】合計で12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。なお、科目選択にあたっての留意事項がありますので、本プログラムのホームページをご覧ください。

サイバーセキュリティ教育プログラム

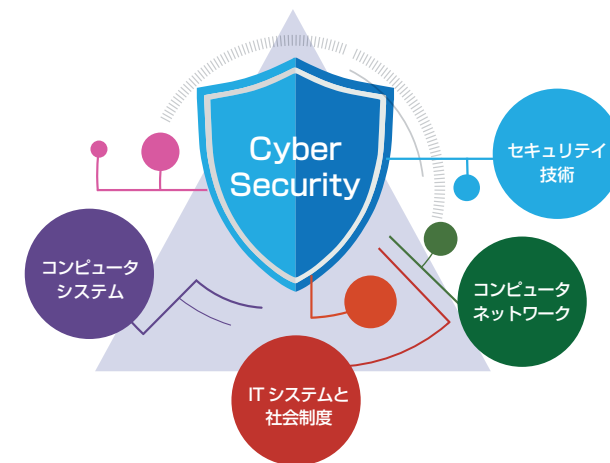


CyberSecurity
サイバーセキュリティ教育プログラム

IT サービスの高度化により社会の利便性が向上する一方で、社会インフラを脅かすサイバー攻撃や個人情報の詐取などの脅威が拡大しており、サイバーセキュリティは重要な課題です。本プログラムは、これらの脅威が発生する理由やその仕組み、対策方法への理解を深めることで、文系・理系を問わず各分野で必要とされるサイバーセキュリティの基礎知識と基本技術を持った人材の育成を目的としています。



各分野で必要とされる人材 CyberSecurity for All



● プログラム概要

サイバーセキュリティの理解と対策に必要な、コンピュータシステムやネットワークの基礎、サイバーセキュリティの技術と事例、社会制度との関係、などを学びます。選択必修科目と選択科目から構成され、選択必修科目は其中でも根幹的な知識や考え方を提供します。

● 科目群

【選択必修科目】サイバーセキュリティ I～IV / 情報工学概論 / 情報セキュリティ / 情報メディア論 I、II など

【選択科目】情報システム技術、情報システムの社会展開などに関する授業多数

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(3～4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。

【履修】選択必修科目から4単位以上、選択必修科目と選択科目をあわせて12単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。なお、科目選択にあたっての留意事項がありますので、本プログラムのホームページをご覧ください。

地域未来社会教育プログラム

地方創生や地域の未来に関心があり、地域の現場での課題解決に意欲のある東大生を対象に、部局を横断した教育を実施します。幅広い専門的知識と先進的な地域分析技術を習得し、現地調査の経験を踏まえて政策提言を行うことのできる人材を育成することを目指します。



● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、学外の専門家を交えた概論の講義と政策立案実習、RESAS (地域経済分析システム) や GIS (地理情報システム) などの地域分析技法の習得、地域未来社会連携研究機構のサテライト拠点などでのフィールドワークから構成されます。選択科目は、自然環境学、地理学、都市工学、農村計画学、国土デザイン、地域政策論など、多彩な科目群から選択することができます。

● 科目群

【選択必修科目】地域未来社会概論 / 地域未来社会政策立案演習 / 地域未来社会フィールドワーク / 地域未来社会情報分析基礎 / 地理情報分析基礎 I / 応用地理情報分析

【選択科目】自然地理学 / 人間・環境システム学 / 自然環境論 / 国土デザイン / 農村地域デザイン / 社会経済地理学 I / 地域政策論 / 緑地計画概論 / 都市情報科学概論 / まちづくり論 / 地区の計画とデザイン / 国際都市地域計画論 / 現代ツーリズム論 / 社会調査法 / 都市住宅論 / 都市解析 / 木質構造科学概論 / 都市農村計画学 / 森林風景計画学 / 自然共生社会論 / 森林リモートセンシング / レクリエーション計画論 / 農村計画学 / 地域農業マネジメント

● 履修・修了要件

【対象】学部後期課程の学生(内定生を含む)が対象ですが、大学院学生も受講できます。

【履修】選択必修科目6単位、選択科目6単位(選択必修科目のうち必修単位数を超えて取得した単位は参入可能)、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。詳細はホームページをご覧ください。

